

ボート男子 シングルスカル 青木(佐野)初の頂点

◇ボート(佐野市渡島瀬川特設ボートコース)

【男子】シングルスカル ①青木 瑛久(佐野)4分19秒 ②佐藤 野東(小林)同 ③ダブルスカル ①佐野・清水・船田 4分33秒 【女子】シングルスカル ①藤倉 麻妃(佐野)4分37秒 ②高山(佐野東)ダブルスカル ①佐野・藤倉・堀越 3分59秒(参考) ②かじ付き4人スカル ①佐野東(高美子)小林・遠藤 佐藤・中島 4分0秒(参考)

出場選手は全て6月4、5日、千葉県で開かれる関東大会に出場

大接戦、終盤追い上げ

○ボート男子シング



青木 瑛久



藤倉 麻妃

ルスカルは3人が5秒差以内の大接戦。競り勝った佐野の青木瑛久は「正直自信がなかった。素直にうれしい」と照れながら喜んだ。

中盤まで先頭と1艇身半ほどの差があった。そこで思い出したのが戸田圭一監督の「青木はラストが強い」という言葉。「力になった」と終盤で脅威の追い上げを見せ、初優勝を勝ち取った。

練習では今回のメンバーたちに負け越していた



ボート男子ダブルスカル優勝の佐野(左から船田、清水)

が、本番の勝負強さが光った。それでも4分10秒台の記録に「関東レベルでは話にならない」と納得していない様子。「まだまだ通過点。インターハイ目指して頑張りたい」と気を引き締めた。

佐野・藤倉麻妃(ボート女子シングルスカルで優勝)「前回の大会よりも10秒以上タイムが伸びてうれしい。冬の練習で体力が付き、ペースが落ちなかった」

佐野・藤倉望妃(ペアを組む堀越紅羽が欠場。ボート女子ダブルスカルに代わりの選手と出場)「紅羽の分まで頑張れた。関東大会では2人で息の合ったレースをしたい」佐野・清水雅裕(ボート男子ダブルスカルで関東大会出場権獲得)「レ

ース慣れしていなく焦ってしまった。これからの大会一つ一つを無駄にしないよう、一生懸命練習に取り組みたい」